

26 JEITA-IS第1348号
平成26年11月10日

各 位

一般社団法人 電子情報技術産業協会
インダストリ・システム部

「JEITA ソフトウェアエンジニアリング技術ワークショップ 2014」の開催について
～ウェアラブル時代のシステムデザイン～

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、当協会の諸事業に対しましては格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

さて、当協会（JEITA）では、ソフトウェアエンジニアリング技術の革新と新市場の創出に向けた活動を推進していくため、「ソフトウェアエンジニアリング技術専門委員会」を設置して、調査・研究活動を行っております。今回、当専門委員会の活動の一環として、関連する企業等における有識者の方々のご協力を得まして、ソフトウェアエンジニアリング技術 ワークショップを下記のとおり開催することと致しました。つきましては、当協会の会員企業はもとより、当該分野にご関係・ご関心の各位におかれましては、是非、このワークショップに参加頂ければ幸いと存じますので、ここにご案内申し上げます。

敬 具

記

日 時 平成26年12月11日（木）11:00～17:15

場 所 電子情報技術産業協会401-403会議室

所 在 : 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3
大手センタービル

電 話 : 03-5218-1057

内 容 「プログラム」をご覧ください。

定 員 100名

参加費 無料



申込方法 参加申込書に必要事項を記載の上、下記の事務局までお申込み下さい。

申込期限 平成26年12月4日(木) (必着)

事務局 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル5階
一般社団法人 電子情報技術産業協会 インダストリ・システム部 石川
TEL 03-5218-1057 FAX 03-5218-1076 E-mail a-ishikawa@jeita.or.jp

「JEITA ソフトウェアエンジニアリング技術ワークショップ 2014」

プログラム

- 11:00-11:10 開会の挨拶
二木 厚吉 氏
北陸先端科学技術大学院大学 教授
JEITA ソフトウェアエンジニアリング技術専門委員会 委員長
- 11:10-12:10 「ウェアラブルシステムの今とこれから」
塚本 昌彦 氏 神戸大学教授
【概要】 ウェアラブルデバイスが注目されている。これからはシステムデザイン
の勝負となる。本講演では、ウェアラブルデバイスの現状と将来につい
て解説しながら、求められるシステムデザインについても言及します。
- 12:10-13:20 (昼 休 憩)
- 13:20-14:00 「そろそろ人もバージョンアップ！」 - Human-Centric Computing で
新しい人と社会を創る -
武 理一郎 氏 (株)富士通研究所 ヒューマンセントリック
コンピューティング研究所主席研究員
【概要】 人が日々対峙するシステムの側を強化するのではなく、人自体の側をサ
ポートするという人間中心の思想で、新しい人、新しい社会を創る取組
みについて紹介します。
- 14:00-14:40 「ウェアラブルビジネスの可能性を広げるクラウド連携」
最首 英裕 氏 (株)グローヴノーツ 代表取締役社長
【概要】 デバイスからの情報を大量に集めてもビジネスにはならない。ビッグデ
ータというだけでは、ただのクズでしかない。ハードウェアからコン
テンツへ。スタンドアロンからソーシャルへ。時代は大きく変わるなか、
高品質なサービスをいかに素早く低コストで実現するかについてご説
明します。
- 14:40-14:55 (休憩)
- 14:55-15:35 「雰囲気メガネのUXについて」
白鳥 啓 氏 (株)Matilde 代表者
- 15:35-16:15 「エプソンのスマートグラス開発に見る AR 技術について」
津田 敦也 氏 セイコーエプソン(株) ビジュアルプロダクツ事業部
HMD 事業推進部 部長
【概要】 シースルースマートグラスの AR 活用事例と、その実現手段について説
明します。
- 16:15-17:15 総合討議 (拡張 Q&A)
(司会) 押山 浩之 氏 オムロンソーシアルソリューションズ(株)
【概要】 発表者と参加者とで、ウェアラブルシステム実現のためのポイントを
Q&A の形で具体的に議論します。

以 上